

参考資料（４）：事件事例

<子供たちの眼前で母親がギャングに殺される。> The Times 19th, November, 1999.

家を襲った強盗集団は、二人の子供をマットレスの下に押し込み、数フィート離れたところで母親を”処刑 (executed)”した。昨日、Old Baileyの法廷で、こう状況説明がなされた。

Avril Johnsonの夫 Kirk Johnsonは、彼女の側に縛って転がされていた。彼の頭を狙って打たれた銃弾は壁に当たり、それで死を逃れた。

ギャングたちは、Mrs Avril Johnson の二人の娘（年齢1才と7才）を荒々しくマットレスの下に投込み、お金を要求した。Mrs Avril Johnson（30才のDJ）は、強盗の一人に縛られ、頭に銃を押しつけられ、引き金を引かれた。

South LondonにあるJohnson宅への今年6月のこの強盗は、黒人ギャングによる（と主張されている）今年の1カ月の間になされた4回の強盗の内の1回であった。

BirminghamのHandsworthで逮捕されたHyrone Hart（27才）、そしてEssexのChingfordで逮捕されたKurt Roberts（19才）は、3回の殺人、2回の殺人企図、そして強盗と火器所持を含む10の罪の告発に対し、無罪を主張した。Mr Robertsは、また、強姦も否定した。

検察官Andrew Mundayは、この2人の男性は、麻薬取扱人と思われる人々の家庭を襲ったギャングの構成員である、と述べた。

最初の襲撃で、3人の男性が被害者の家に押し入り、ジャマイカ訛の英語で次の様に言った。：“オレは何か出来るかい（ヤレルかい）？”。この男性のガールフレンドが、台所に連れて行かれ、そして主張されているところでは、Mr Robertsに強姦された。彼女のボーイフレンドは、刺された。侵入の数分後、二人の男性を呼出すため、盗んだ携帯電話（侵入した家の電話）を使った。

BrixtonのBrockwell Park近くにあるJohnson家の強盗は、その後の第2の侵入であった。Mr Johnsonは、死んだ振りをすることで助かった。

検察官Andrew Mundayは、次のようにも述べた。East LondonのStratfordで、Crack Cocaine 取扱人であるMichelle Carby（35才）が、今年6月、3才の子供たちの側で頭を射たれて死亡した事件に関して、目撃者が居ない。

最後の強盗事件は、Canabis（マリファナ）の取扱人であるPatrick FergusonがNorth west Londonで殺された事件である。

検察官Andrew Mundayは、次のように述べた。強姦事件でのDNAが、Mr Robertsに結びついた。

二人の男性は、被疑者の識別パレード（目撃者による判別）に並ばされた。